

令和4年度児童・生徒アンケートの結果

令和4年度児童・生徒アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査期間】

令和5年1月20日（金）から令和5年1月31日（火）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

配布数 19,430 回答数 18,167（内、有効回答数 18,020） 回答率 92.7%

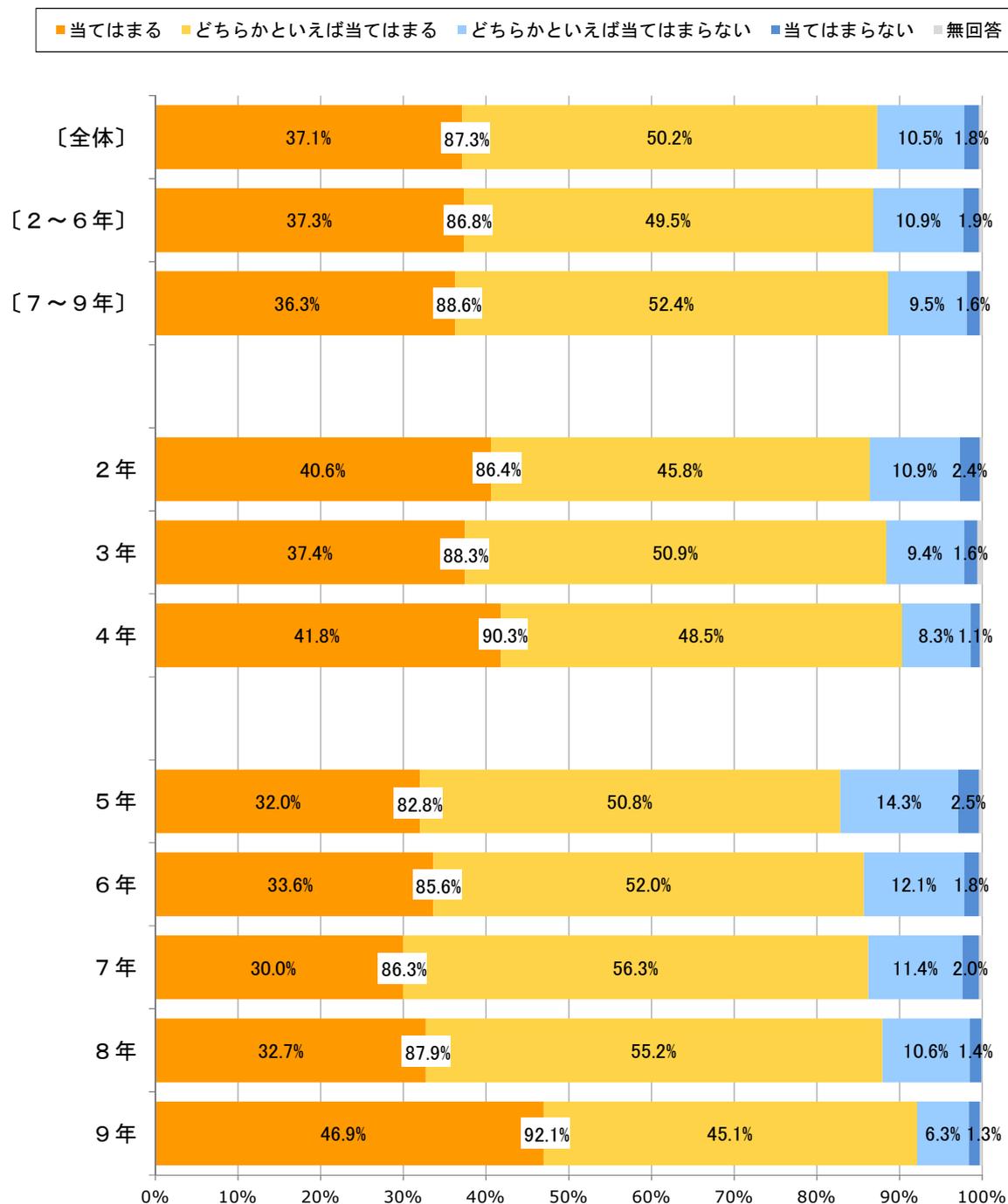
注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

[A. 学校や家での様子について]

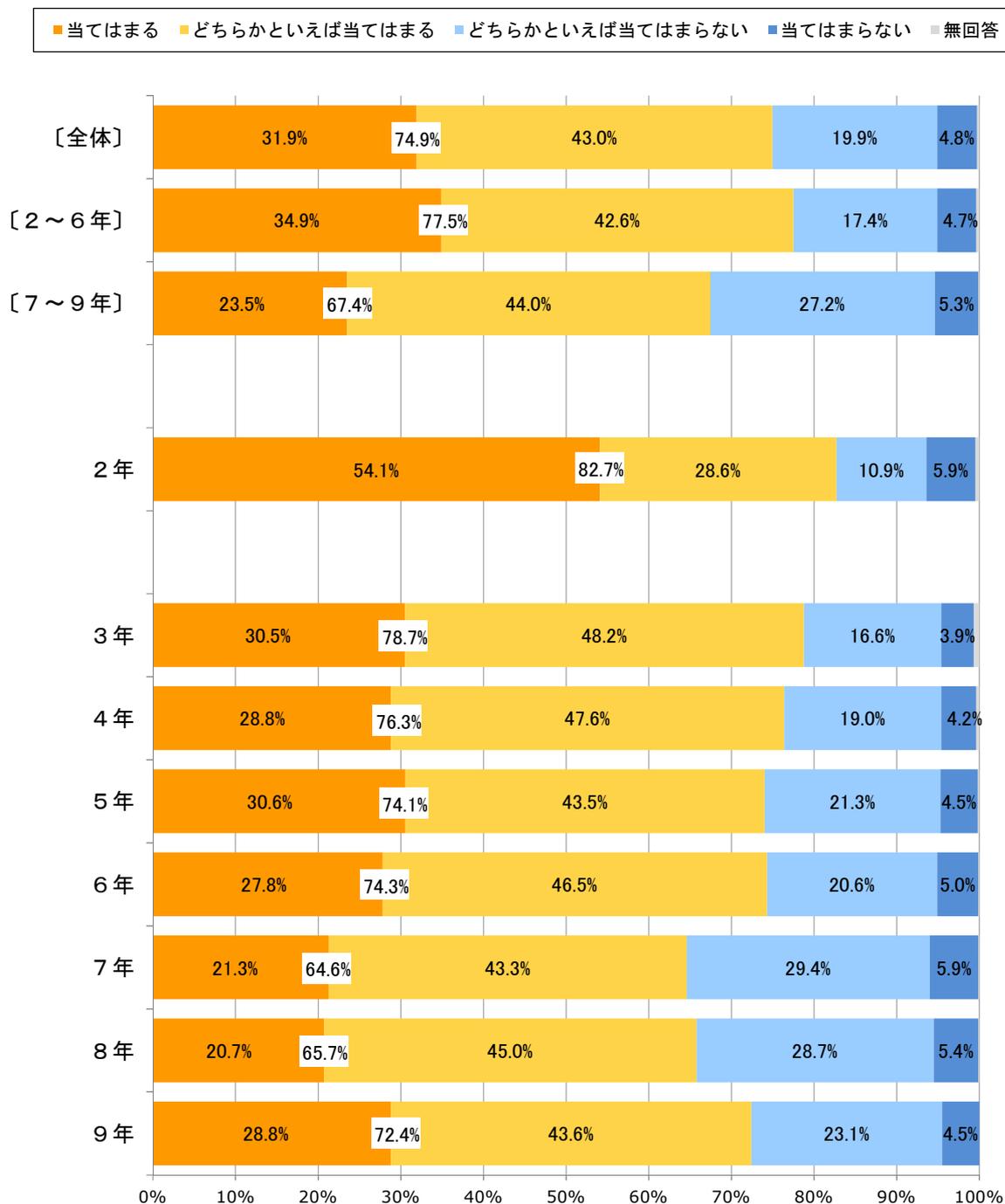
[1] (2~4年) 自分のことは自分で行うようにしている。

(5~9年) 自分で判断し、責任をもって行動しようとしている。



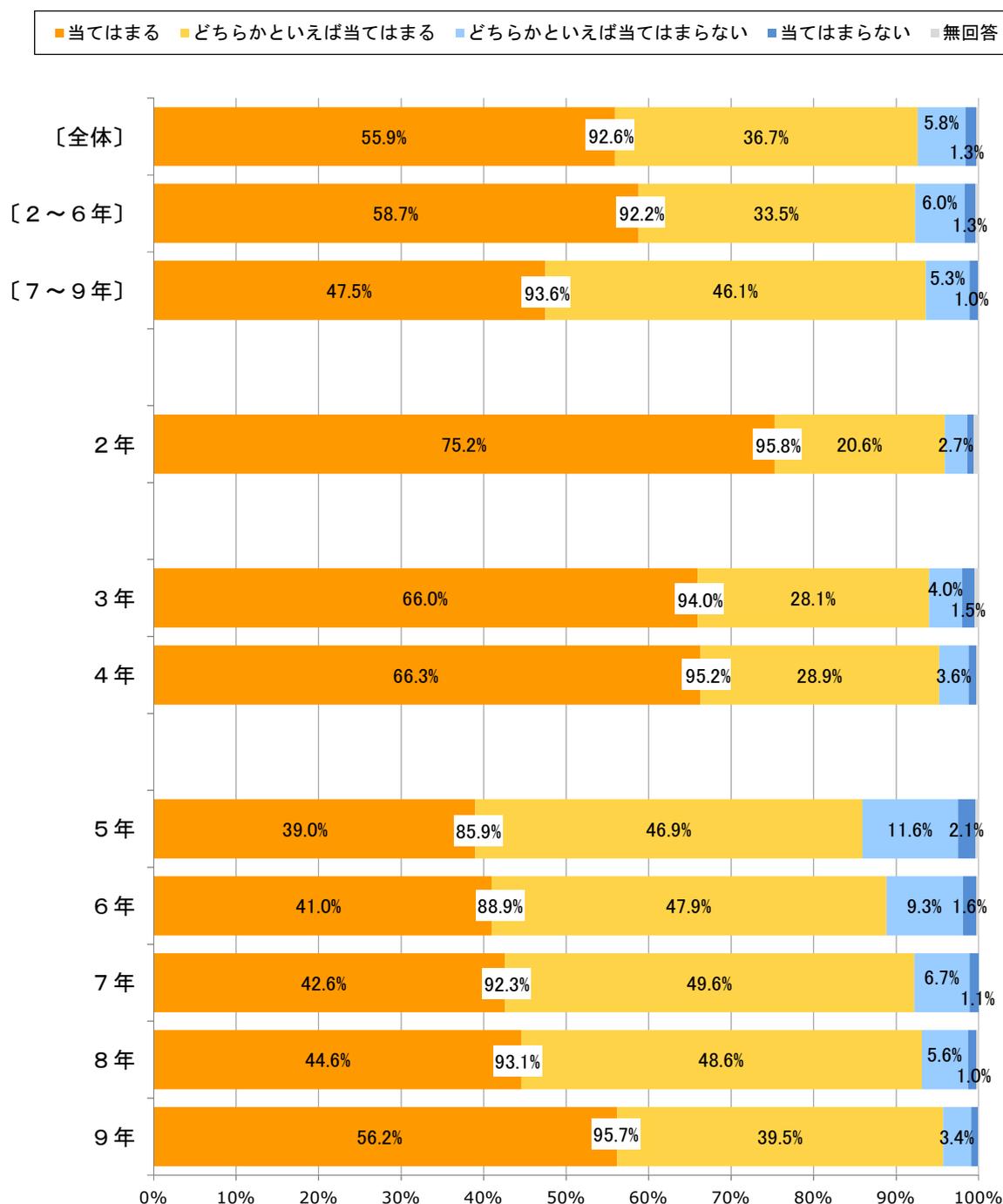
2~4年では「自分のことは自分で行うようにしている」に『肯定的な回答』は80%台後半~90%を占める。また、5~9年の「自分で判断し、責任をもって行動しようとしている」に『肯定的な回答』は、5~8年では80%台であるが、9年は90%を超えた。

[2] (2年) 前の日のうちに、次の日の用意をしている。
 (3~9年) 自分の予定を考えながら計画的に生活することができる。



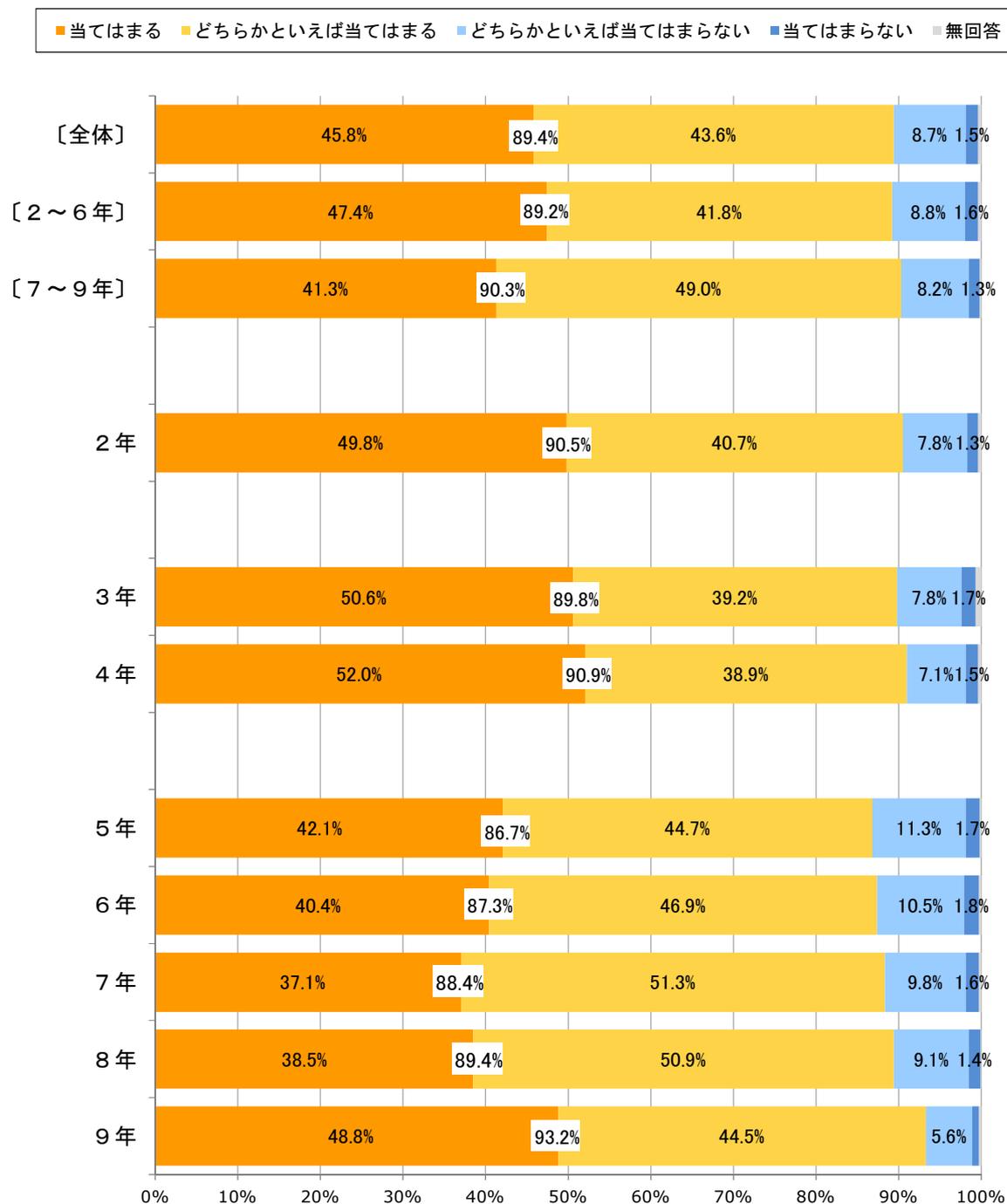
2年では「前の日のうちに、次の日の用意をしている」に『肯定的な回答』は82.7%を占める。一方で、3~9年では「自分の予定を考えながら計画的に生活することができる」に『肯定的な回答』は60%台~70%台である。

- [3] (2年) 友達と仲良くすることができる。
 (3～4年) 友達の個性を認めて、仲良くすることができる。
 (5～9年) 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる。



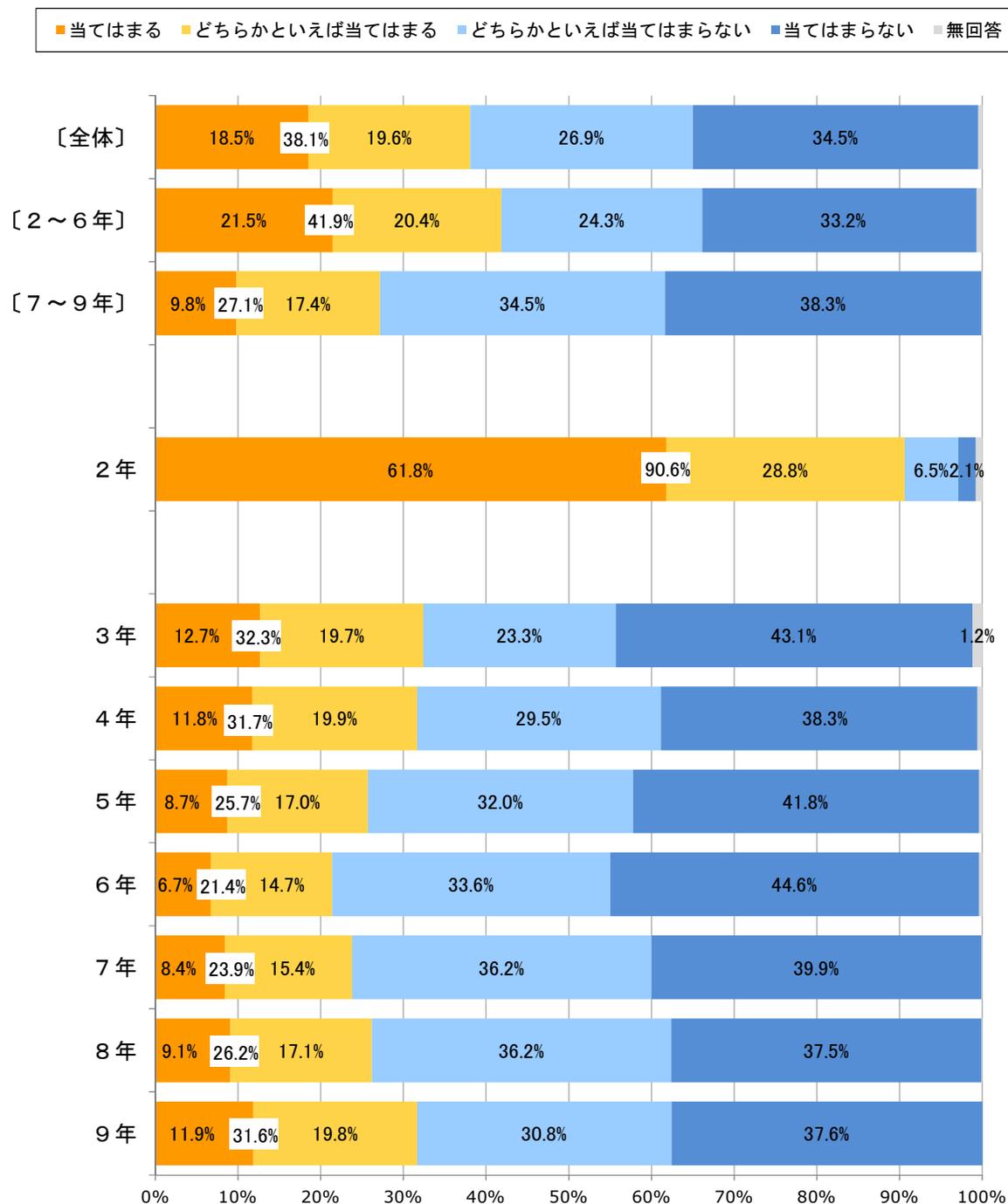
2年の「友達と仲良くすることができる」と3～4年の「友達の個性を認めて、仲良くすることができる」に『肯定的な回答』はいずれも90%台半ばを占めた。5～9年の「社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる」は5年が85.9%、9年が95.7%と学年が上がるほど高くなっている。

- [4] (2年) 人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる。
 (3～4年) 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。
 (5～9年) 自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる。



2年の「人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる」と3～4年の「自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる」に『肯定的な回答』はいずれも約90%を占めた。5～9年の「自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる」に『肯定的な回答』は5～8年が80%台後半、9年が90%を超えて最も高くなっている。

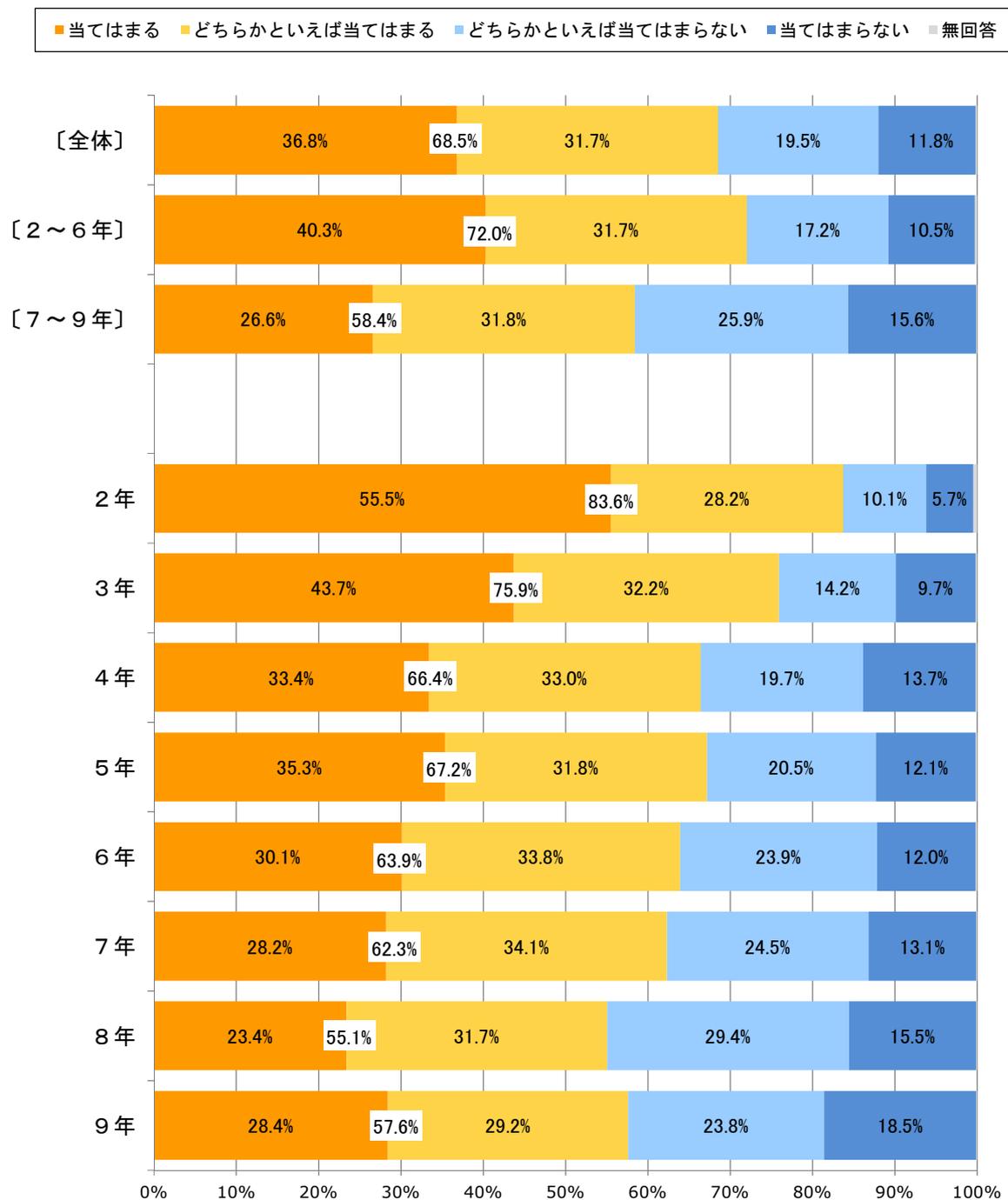
[5] (2年) みんなのために働くのは楽しいと思う。
 (3~9年) ボランティア活動などに参加している。



2年では「みんなのために働くのは楽しいと思う」に『肯定的な回答』は約90%を占める。一方で、3~9年では「ボランティア活動などに参加している」に『肯定的な回答』は20%台~30%台に留まった。

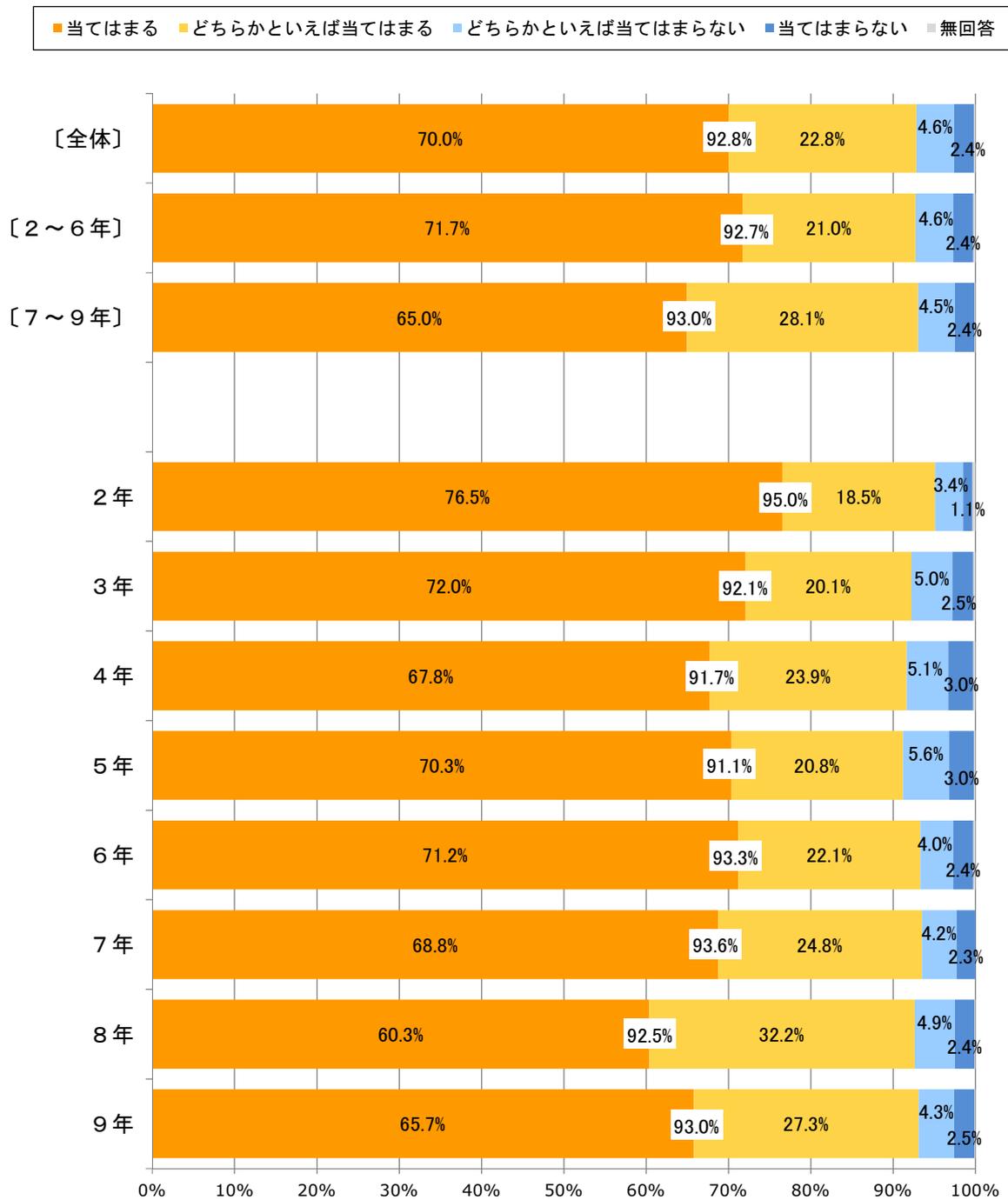
[B. 英語の学習について]

[6] 英語の学習は好きである。



[英語の学習は好きである]に『肯定的な回答』は、全体では68.5%であり、2～6年は72.0%、7～9年は58.4%である。「当てはまる」の割合は、2年では55.5%と最も高く、8年で23.4%と最も低い。

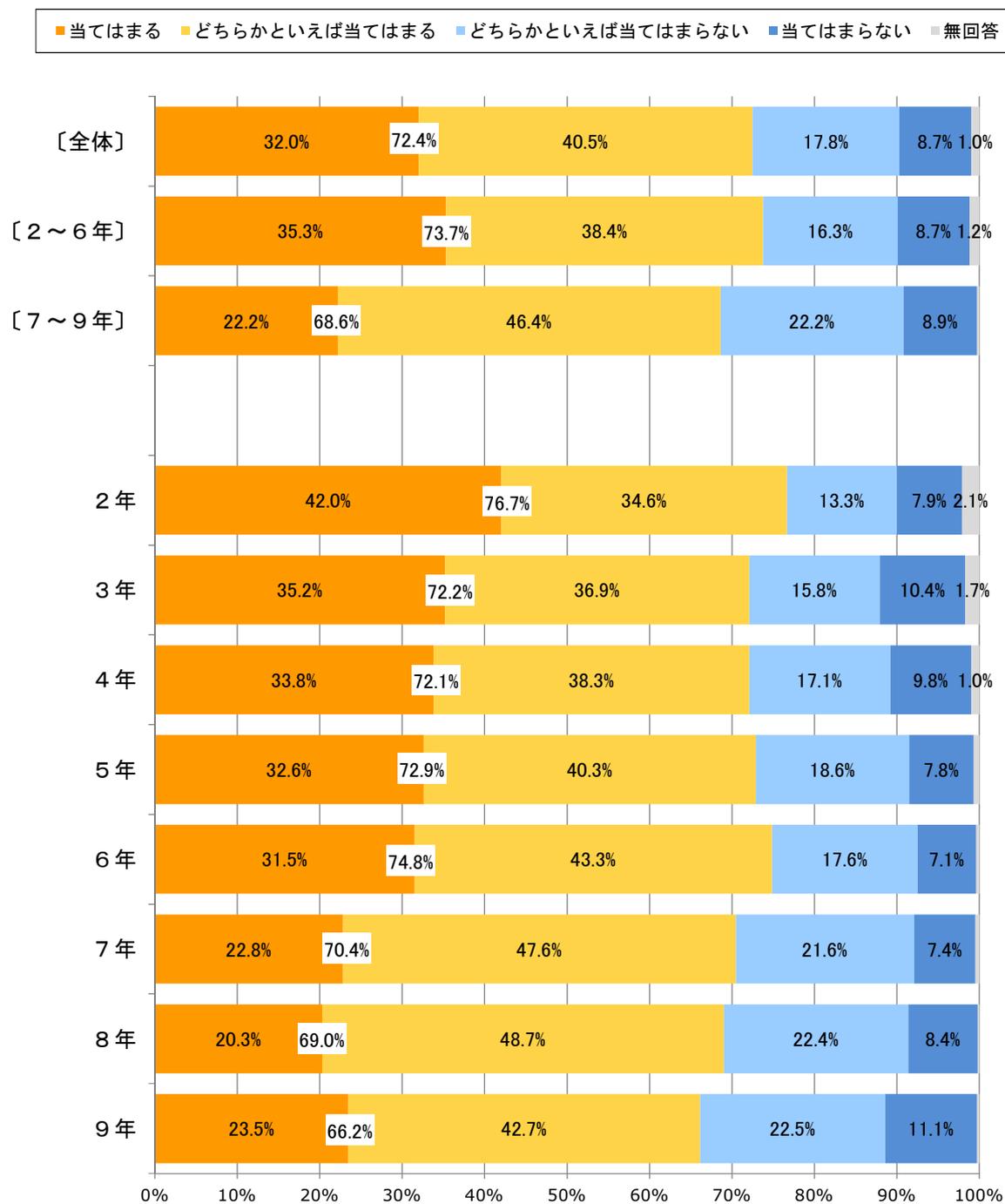
[7] 英語の学習は大切だと思う。



「英語の学習は大切だと思う」に『肯定的な回答』は全体では90%を超え、学年別でも全学年で90%以上である。「当てはまる」の割合は2年で76.5%と最も高い。

[C. 地域での様子について]

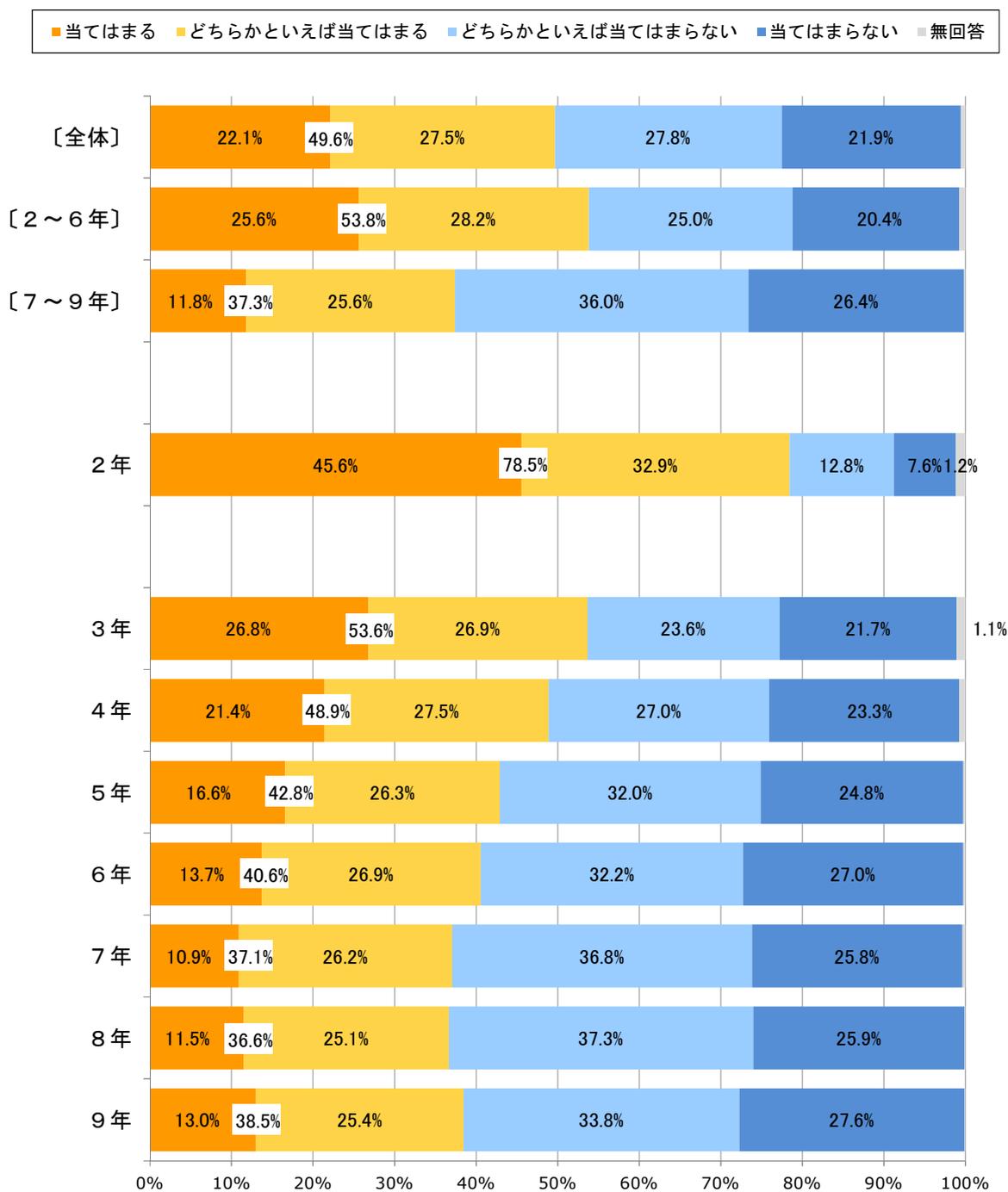
[8] 授業や学校の行事に地域の人たちが参加している。



「授業や学校の行事に地域の人たちが参加している」に『肯定的な回答』は全体で72.4%を占める。2～6年は73.7%、7～9年は68.6%である。
「当てはまる」の割合は2年で42.0%と最も高く、7～9年では20%台に留まっている。

[9] (2年) 地域のお祭りや、行事、イベントに参加している。

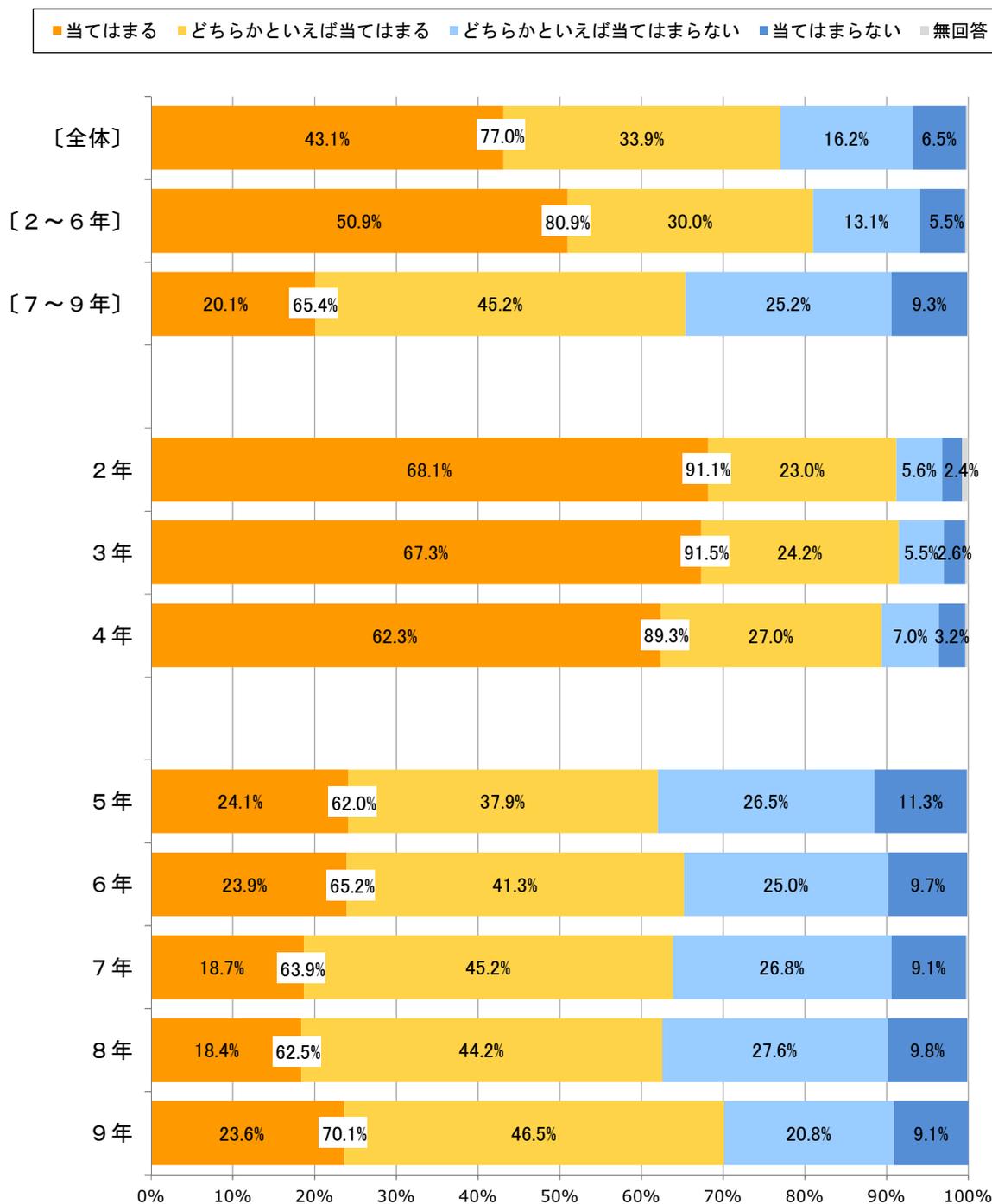
(3～9年) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。



2年では「地域のお祭りや、行事、イベントに参加している」に『肯定的な回答』は80%弱である。一方で、3～9年の「地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している」に『肯定的な回答』は3年が53.6%で最も高く4～9年では30%台～40%台に留まった。

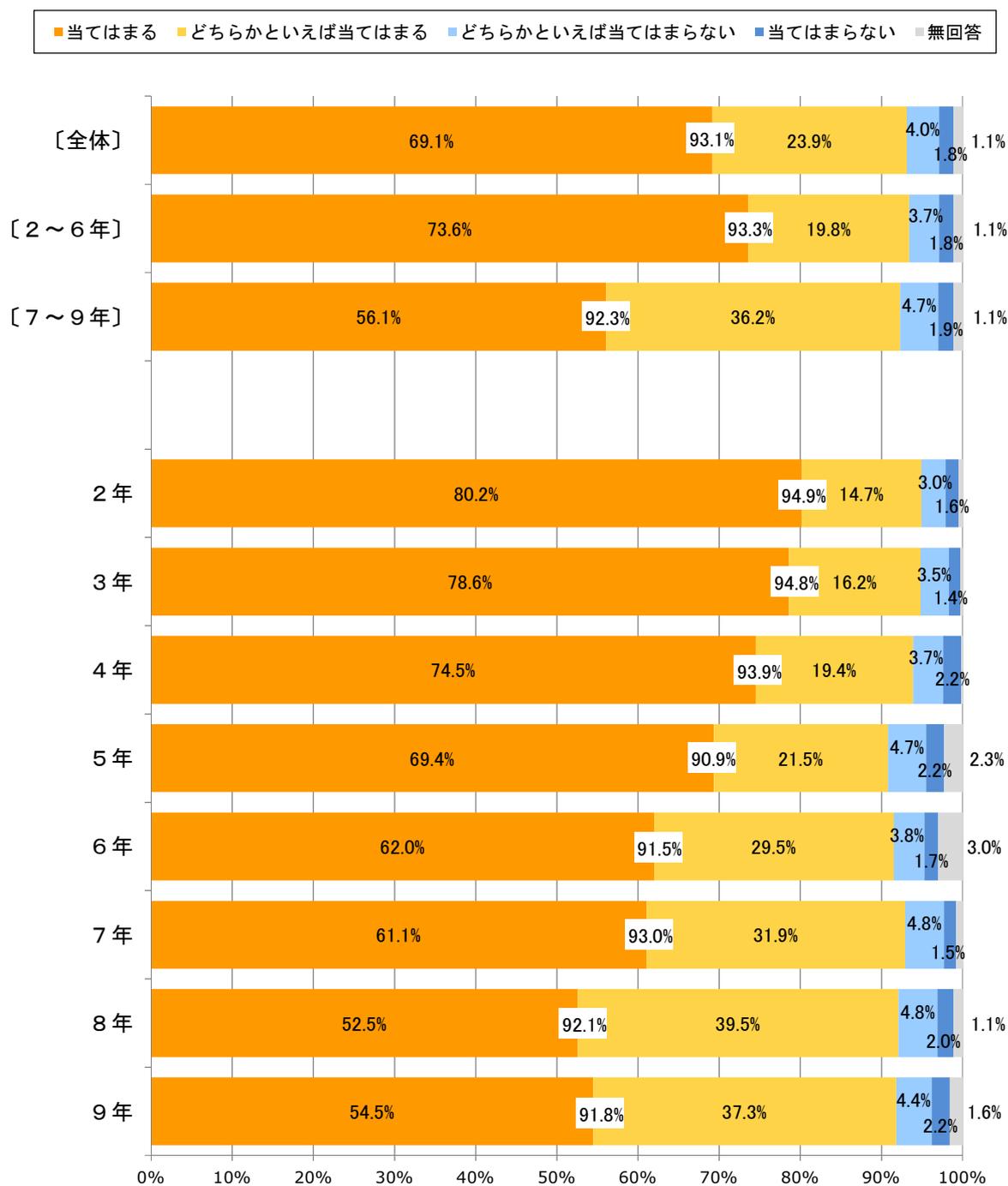
[10] (2~4年) 季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う。

(5~9年) 学校や地域、我が国の諸外国の伝統文化について、理解を深めようことができる。



2~4年では「季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う」に『肯定的な回答』は約90%を占める。一方で、5~9年では「学校や地域、我が国の諸外国の伝統文化について、理解を深めようすることができる」に『肯定的な回答』は60%台~70%に留まった。

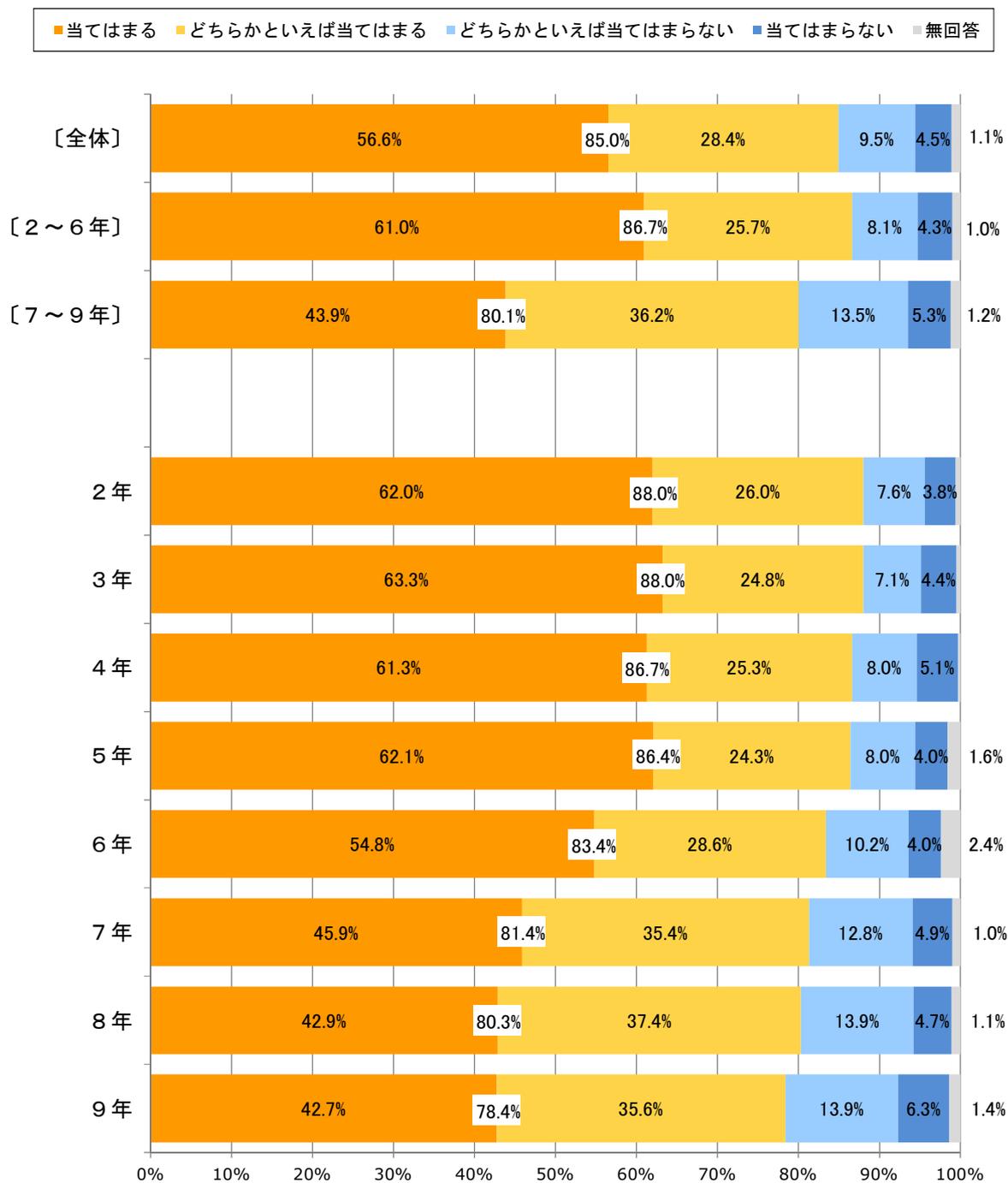
[11] 今住んでいる地域が好きだ。



[今住んでいる地域が好きだ]に『肯定的な回答』は全体で90%を超え、学年別に見ても、全ての学年で90%以上である。「当てはまる」の割合は2年で80.2%と最も高いが、8～9年は50%台に留まっている。

[D. コンピュータやタブレットなどの活用について]

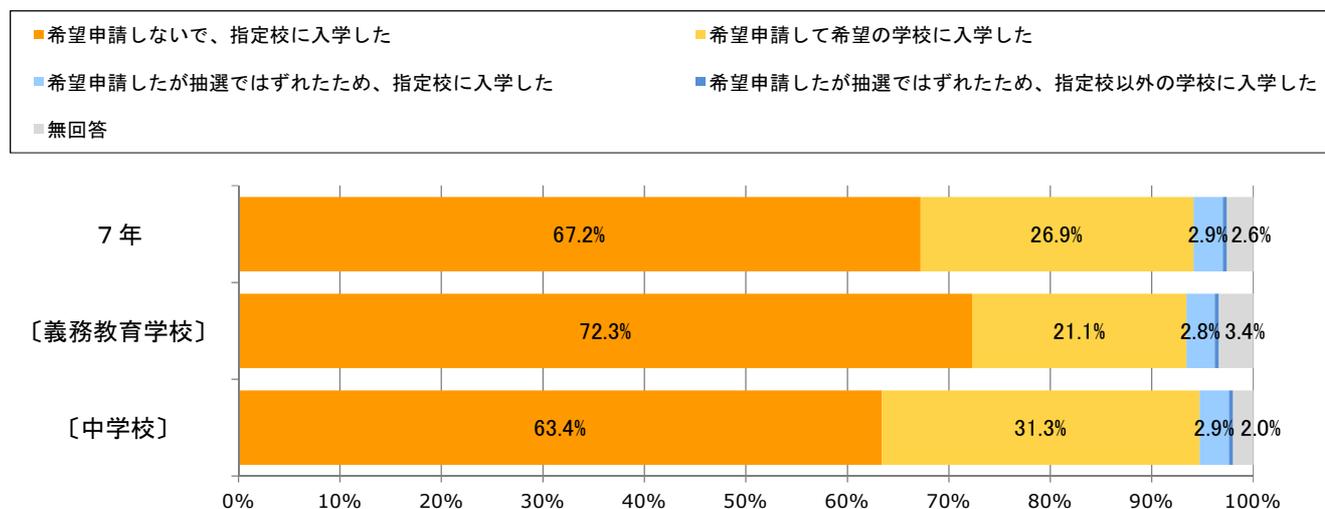
[12] 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか。



「授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか」への『肯定的な回答』は、全体で85%を占める。2～6年で86.7%、7～9年で80.1%である。「当てはまる」の割合は2～6年の61.0%に比べ、7年～9年は43.9%と低い。

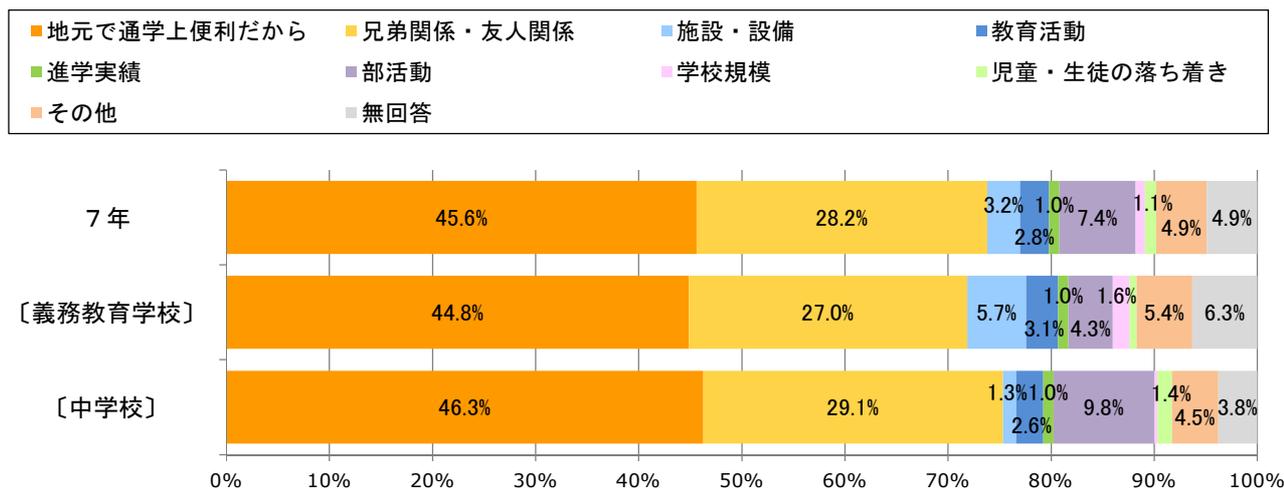
[E. 学校選択制について]

[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。
(7年のみ)



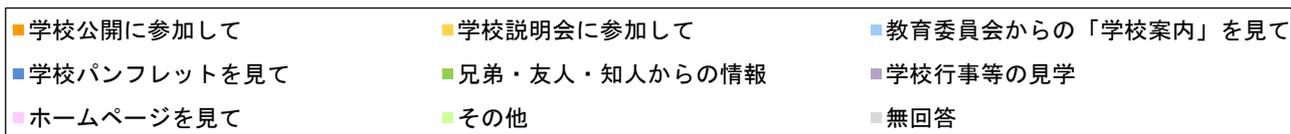
全体では「希望申請しないで指定校に入学した」が67.2%と最も高く、次いで「希望申請して希望の学校に入学した」26.9%、「希望申請したが抽選ではずれたため、指定校に入学した」2.9%と続いている。〔義務教育学校〕は〔中学校〕よりも、「希望申請して希望の学校に入学した」で10.2ポイント低く、「希望申請しないで、指定校に入学した」で8.9ポイント高い。

[14] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。
(7年のみ)



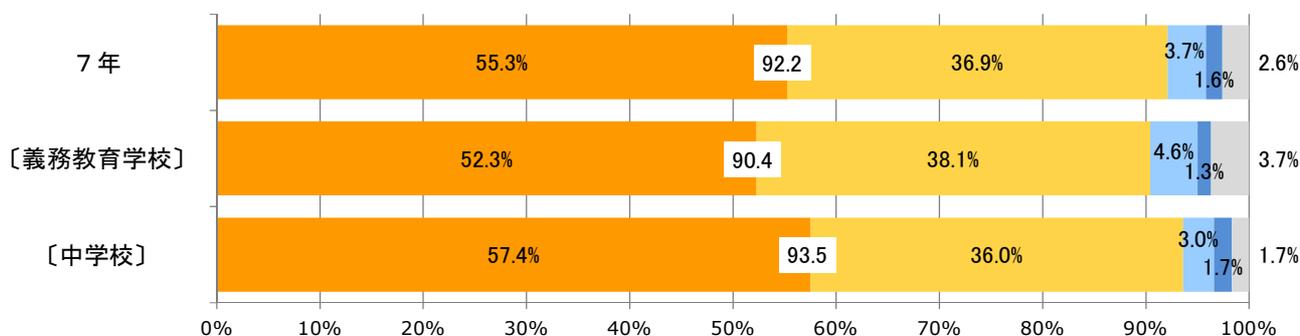
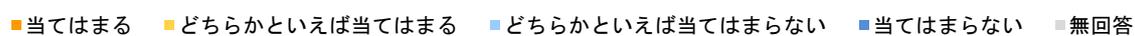
学校を選択する際に最も重視したことは、「地元で通学上便利だから」が45.6%と最も高く、次いで「兄弟関係・友人関係」28.2%、「部活動」7.4%と続く。〔義務教育学校〕は〔中学校〕よりも「部活動」で5.5ポイント低く、「施設・設備」で4.4ポイント高い。「その他」の内容としては、「特になし」が最も多く、次いで「小中一貫なのでそのまま進学した」、「家から近い」などが見られた。

[15] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。
(7年のみ)



学校を選択する際に最も重視した情報は、「兄弟・友人・知人からの情報」が41.8%と最も高く、次いで「学校説明会に参加して」15.1%、「学校公開に参加して」9.2%と続いている。〔義務教育学校〕は〔中学校〕よりも「兄弟・友人・知人からの情報」で14.0ポイント低く、「学校公開に参加して」で5.3ポイント高い。「その他」の内容としては、「特になし」が最も多く、次いで「家が近い」、「小中一貫なのでそのまま進学した」などが見られた。

[16] 学校選択制は良い制度だと思う。(7年のみ)



〔学校選択制は良い制度だと思う〕に『肯定的な回答』は全体で90%を超えている。〔中学校〕は〔義務教育学校〕より「当てはまる」が5.1ポイント高い。